

インドネシア金融政策（2022年9月）

インフレ抑制・為替安定を図るための予防的な大幅利上げ

2022年9月26日

利上げ幅拡大も、財政規律の遵守が評価され、金融市場の安定に寄与

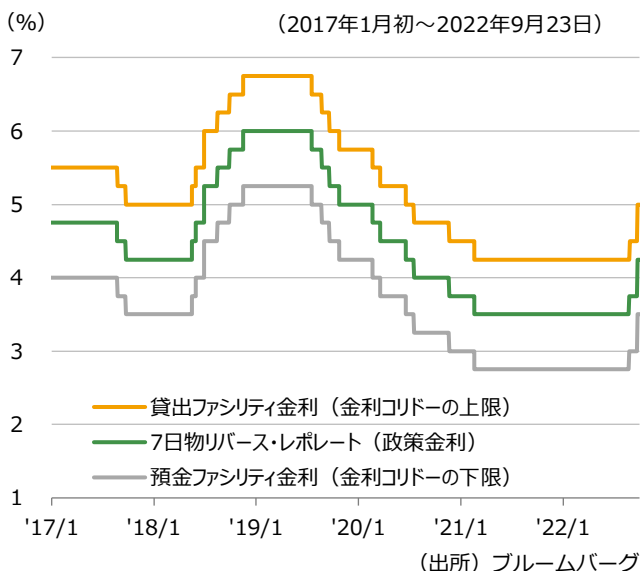
9月22日（現地）、インドネシア銀行（中央銀行）は政策金利である7日物リバースレポレートについて、市場予想を上回る0.50%ポイントの引き上げを発表し、4.25%にしました【図表1】。中銀は、声明文で「インフレ期待を抑制し、コアインフレを2023年後半に中銀のターゲットレンジに回帰させると同時に、為替市場の安定性を高めるための予防的な措置」としました。

インドネシアでは9月以降、CPIの前年同月比伸び率が急速に高まると見込まれます。きっかけは、8月16日に発表された2023年度の政府予算案で燃料補助金の大幅な削減が示唆された後、9月3日に主要な燃料価格が約3割引き上げられたことです。中銀はコアインフレについても、燃料価格の引き上げによる2次的な波及効果、需要増加による物価上昇圧力に言及し、より強力な引き締めが必要としました。

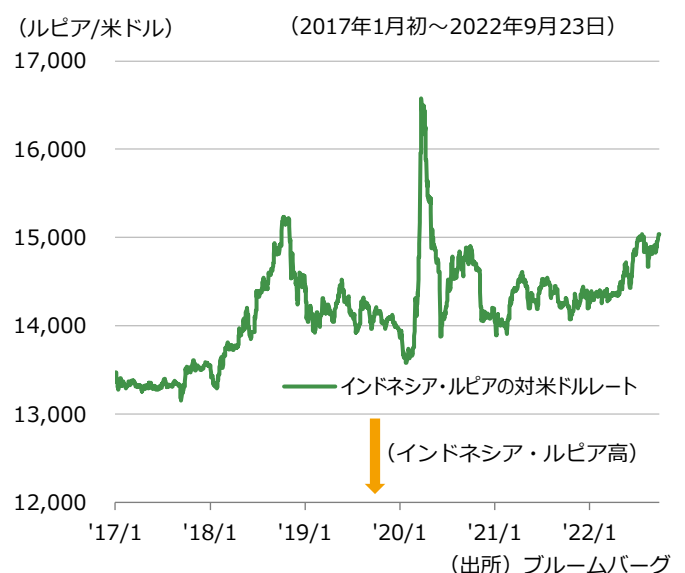
また、米国の大幅な利上げにより新興国通貨への減価圧力が一段と強まっていますが、今回の利上げ幅の拡大は予防的な措置として為替市場の安定に幾分寄与すると考えられます【図表2】。

前回会合以降、「燃料補助金削減」の政策転換がありましたが、強い家計消費と輸出を背景に、景気見通しは引き続き良好とみられます。また、一時的な物価上昇をもたらしますが、財政規律の遵守による公約の取り組みでもあり、政府信認の向上に繋がっています。良好な景気見通しや適切な経済運営を背景に、金融市場では驚くほど米利上げへの耐性が見られており、今後も同国への注目度が高まると見込みます。

図表1 主要政策金利



図表2 インドネシアの為替レート



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management